



平成 29 年 3 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ながの東急百貨店  
 代表者名 取締役社長 楠野 創  
 (コード：9829 東証 JASDAQ)  
 問合せ先 業務本部長 根岸 健一  
 (TEL 026-226-8181)

## 特別損失の計上及び通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 1 月期において、下記のとおり特別損失(固定資産除却損)の計上を行うとともに、平成 28 年 9 月 7 日に公表いたしました平成 29 年 1 月期の通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の計上について

当社は、平成 28 年 3 月に策定した「収支改善計画」に基づき、化粧品の新規ブランドの導入、大型テナントの誘致などの売場改装を行いました。その結果、固定資産の除却及び撤去・解体費用等、固定資産除却損として、個別で 121 百万円、連結で 129 百万円の特別損失を計上いたしました。

#### 2. 通期連結業績予想値と実績値との差異

平成 29 年 1 月期連結業績(平成 28 年 2 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,143	△103	△134	△600	△62.71
実績値(B)	19,750	△69	△100	△477	△49.89
増減額(B-A)	△393	34	34	123	
増減率(%)	△1.9	—	—	—	
(ご参考)前年実績 (平成 28 年 1 月期)	21,066	86	51	△4,230	△441.91

#### 3. 修正の理由

通期の連結業績につきましては、衣料品の不振などにより、売上高は前回発表予想を下回る結果となりましたが、利益面におきましては、店舗改装費用の圧縮など販売費及び一般管理費の削減に努めた結果、営業損失及び経常損失並びに親会社株主に帰属する当期純損失は、前回発表時の損失予想を改善する結果となりました。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上